

## 公演日程

- ◆ 5月25日(土) ライブスペースJam  
(東區藤原川西町上小松2992/☎0238-42-4533)
  - ◆ 6月 2日(日) 國陣総合文化センター1ホール  
(米沢市金池3-1-14/☎0238-21-6111)
  - ◆ 6月23日(日) 産の文化伝承館 小ホール公演  
(米沢市丸の内1丁目3-48/☎0238-23-8009)
  - ◆ 7月15日(月) 白鷹町文化交流センターあそび心  
(西區藤原白鷹町結貝7331/☎0238-85-9071)
  - ◆ 7月28日(日) 南陽市文化プラザ 蔵楽 小ホール  
(南陽市宮内1004-1/☎0238-47-7860)
  - ◆ 8月 4日(日) 蔵オビハチ 灯籠  
(山形市十日町3-1-43/☎023-626-2737)
  - ◆ 9月29日(日) 遊学館ホール  
(山形市緑町1丁目2-36/☎023-625-6411)
- ※全公演14時より開演/入場1,000円



## 「父と暮せば」

作/井上ひさし

演出/渡部キユウ

演出補佐/古川史子

出演/古川 孝 (川西町演劇研究会)

／加藤未来 (やまがた未来座)

後援/株式会社オフィス深町

協賛/オーとすたじお RECCO 他

問合せ/オフィス深町 0238-43-7773 (古川)

## あらすじ

昭和21年の広島。福室美津江の自宅。

美津江は、父・竹達と二人で暮らしている。しかし、その竹達は米糧の配給を受けて死亡したはずなのだが、ある時再び美津江の前に現れたのである。でも美津江には時に動じたりおどろかされるような事はない。

美津江は明るく快活だが、心の奥では米糧配下も生き残ってしまったことへの罪悪感をもっており、動機化である図書館で米糧の資料を集める水子という青年から好意を寄せられているものを、死者への申し訳なきから親戚になれない。竹達は、美津江の日々の話し相手として、彼女を愛しますが、ときに論じ、慰言を奉げる。

美津江は、水子から敵軍の攻撃と一緒に亡くそうと誘われると竹達に告げる。竹達は、それは結婚の中込みで、ゼロ行くべしだと言うが、美津江はそれを通じようとする。そして父と娘の最後の会話が始まるのだった一。

